アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

第３３回通常総会

資　料

1. 第１号議案　平成 30 年度事業報告及び収支決算

2. 第２号議案　令和元年度事業計画及び収支予算

3. 第３号議案　役員名簿（案）

参考資料

1. 技術研究発表会・交流展示会　実施報告書

2. 都市基盤技術等情報発信 WEB サイトについて

資　料

1. 第１号議案　平成 30 年度事業報告及び収支決算

2. 第２号議案　令和元年度事業計画及び収支予算

3. 第３号議案　役員名簿

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

平成３０年度

事業報告及び収支決算（案）

自　平成 30 年４月１日

至　平成 31 年３月 31 日

平成３０年度事業報告書(案)

ｱｰﾊﾞﾝｲﾝﾌﾗ･ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ推進会議

Ⅰ　概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

Ⅱ　会員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

Ⅲ　評議員会・総会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

Ⅳ　各部会の事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

　１　企画運営部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

　２　技術交流部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

　３　広報部会　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

Ⅴ　都市基盤技術サイト運営事業・・・・・・・・・・・・・・５

Ⅰ　概　要

当推進会議の中心事業である「第２５回交流展示会」及び「第３０回技術研究発表会」を平成３０年１１月１６日に丸ビルホール&コンファレンススクエア８階で開催しました。さらに（公財）都市活力研究所の協力を得て「大阪大会」を平成31年２月７日に建設交流館（大阪）で論文発表（優秀賞４編）と講演会という構成で開催しました。

平成２８年度からの継続事業として「都市基盤技術サイト運営事業」を実施しました。

また、平成30年度事業計画で「新たな研究会の開催を検討」するとされた研究会について、スマートシティ・ワーキンググループとして発足させるべく調整いたしました。

このほか、前年度と同様に当推進会議が実施する事業の他に(一財)都市みらい推進機構等が実施する講演会等に共催として参画し、会員の皆様へ最新の知識や技術の習得並びに情報交換を行う機会の提供に努めました。

Ⅱ　会　員

１．現行会員数（平成３１年 3月３１日現在）

正会員	２６（前年度末比　±0）
特別会員	９９（前年度末比　＋1）
計	１２５（前年度末比　＋1）

２．入退会

入会　　特別会員／羽藤英二　氏（東京大学　教授）

Ⅲ　評議員会・総会

１．第47回　臨時評議員会　平成３０年4月１9日（書面評決）
- 第３１回通常総会付議事項

２．第48回　評議員会　平成３０年6月7日
- 第３２回通常総会付議事項

３．第31回　臨時総会　平成３０年５月３０日（書面評決）
- 第１号議案　副会長の選任

４．第32回　通常総会　平成３０年6月7日
- 第１号議案　会長の選任（案）
- 第２号議案　平成２９年度事業報告及び収支決算（案）
- 第３号議案　平成３０年度事業計画及び収支予算（案）
- 第４号議案　規約改正について（案）
- 第５号議案　役員の選任等（案）

Ⅳ　各部会の事業

１．企画運営部会

評議員会の事前審議として、平成３０年５月９日に第 32回企画運営部会を開催し、予算・決算および事業全般の検討を行うと共に、以下の講演会、交流見学会、意見交換会の開催について決定しました。

（１）講演会

① 平成３０年６月７日　＜通常総会後の記念講演会＞

「２１世紀のまちづくり　その在り方」

講師：（一財）計量計画研究所　代表理事　岸井 隆幸　氏

② 平成３０年7月１０日

「市街地整備・まちづくりの現状・展開」

－都市のスポンジ化対策 ～スマートシティ、i-都市再生－

講師：国土交通省 都市局 市街地整備課長　徳永 幸久 氏

③ 平成３０年１１月１６日　＜技術研究発表会講演＞

「情報は都市を変えるか？」

講師：東京大学　大学院工学系研究科　教授　羽藤 英二 氏

④ 平成３０年１１月２２日

「スマートシティの実現に向けて」

講師：国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長 越智 健吾 氏

⑤ 平成３１年2月7日　＜大阪大会講演＞

・「スーパーメガリージョン構想について」

講師：国土交通省　国土政策局総合計画課　課長補佐　新見 健吾 氏

・「四条通歩道拡幅事業と歩くまち京都の取組」

講師：京都市　都市計画局 歩くまち京都推進室 企画課長　大岸 將志 氏

⑥ 平成３１年3月7日

「国土強靭化に向けた最近の取組等について」

講師：内閣官房国土強靭化推進室　参事官　小山 陽一郎 氏

（２）交流見学会

① 平成３０年 10 月 26 日「明治記念大磯邸園」

② 平成３１年２月８日「四条通歩道拡幅事業」「京都迎賓館」

（３）意見交換会

① 平成３０年６月７日　通常総会、記念講演会の後に開催

② 平成３０年１１月１６日　技術研究発表会の閉会式、表彰式の後に開催

（４）その他

平成 30 年度事業計画で「新たな研究会の開催を検討」するとされた研究会について、国土交通省の協力を得つつ、羽藤東大教授にご指導いただきながら研究するスマートシティ・ワーキンググループとして発足させるべく関係方面と調整し、参加メンバーをアンケート調査により募集いたしました。

２．技術交流部会

「スマートシティが描く都市の未来」をテーマに、「第２５回交流展示会」、「第３０回技術研究発表会」及び「大阪大会」を開催しました。

（１）「第２５回交流展示会」開催概要

日　　時　平成３０年１１月１６日　１０時～16時

場　　所　丸ビルホール&コンファレンススクエア８階

出 展 者　８自治体・団体

（２）「第３０回技術研究発表会」に関する会議等及び開催概要

１）会議の開催

第４２回技術研究発表委員会	平成３０年3月１２日
第４３回技術研究発表委員会	平成３０年4月１６日
第４４回技術研究発表委員会・小委員会	平成３０年7月5日
第４５回技術研究発表委員会 論文審査委員会	平成３０年7月１９日
第４６回技術研究発表委員会・小委員会	平成３０年8月9日
第４７回技術研究発表委員会・小委員会	平成３０年９月13日
第４８回技術研究発表委員会 論文審査委員会	平成３０年 10月４日

２）論文募集

第３０回技術研究発表会論文募集案内	平成３０年5月 15日
同論文応募（予約申込）	平成３０年７月2日
同論文応募（梗概・論文提出）	平成３０年９月7日

３）論文審査　　平成３０年９月初旬～末

４）「第３０回技術研究発表会」開催概要

日　　時　平成３０年11月１6日　１3時～１9時

場　　所　丸ビルホール&コンファレンススクエア８階

聴講参加　１７０名（昨年度　166 名）

① 論文発表

環境・エネルギー・防災	６編（内１編は共通セッション）
情報	５ 編（内 １ 編は共通セッション）
地域再生・まちづくり・交通	５編（内１編は共通セッション）
合　　計	16 編

※ 梗概および論文はホームページに掲載

② プロジェクト・技術報告　　８編（内３編は共通セッション）

③ 共通セッション「2020 東京オリンピック・パラリンピックがもたらす都市のテクノロジー」

④ 講演会　「情報は都市を変えるか？」（前掲）
東京大学大学院工学研究科　教授　羽藤　英二　氏

⑤ 表彰式　以下のとおり、優秀賞、奨励賞の表彰を行ないました。

	優秀賞	奨励賞
環境・エネルギー・防災	１編	２編
情報	１編	２編
地域再生・まちづくり・交通	１編	２編
合　計	３編	６編

⑥ 意見交換会（前掲）

（3）「大阪大会」開催概要
日　時　平成３１年2月7日　１3時30分～17時00分
場　所　建設交流館８階グリーンホール
聴講参加　１４０名（昨年度　１４４名）

① 論文発表 第３０回技術研究発表会優秀賞３編
② 講演1　国土交通省「スーパーメガリージョン構想について」（前掲）
③ 講演２　京都市「四条通歩道拡幅事業と歩くまち京都の取組」（前掲）

3．広報部会

- ホームページを定期的にリニューアルし、最新の情報を提供しました。
- データーベース化した発表論文に第３０回分を追加掲載し、会員非会員を問わず閲覧できるようにしました。
- （一財）都市みらい推進機構が発行する「都市みらい通信 IFUD LETTER」に技術研究発表会、交流展示会、講演会などの開催結果を掲載しました。
- 技術研究発表会の論文募集・開催について、外部のサイトに掲載し参加募集および開催周知に取り組みました。

（1）主なHP 掲載内容
組織概要更新
第３０回技術研究発表会論文募集要綱
第３０回技術研究発表会　各論文および梗概
第３０回技術研究発表会開催結果
第２５回交流展示会開催募集要綱
第２５回交流展示会開催結果
都市づくりについての技術研究発表と講演会開催結果
講演会開催結果
交流見学会開催結果

（2）外部 HP 等への告知掲載
土木学会（JSCE）
日本都市計画学会／メルマガ、Facebook

Ⅴ　都市基盤技術サイト運営事業

平成２８年９月末に公開した都市基盤技術サイト（てくTechまちさんぽ）について、関連団体との相互リンク、国土交通省及び参加各社のプレスリリース掲載及び掲載コンテンツのリンク切れ対応を継続実施しました。また、本サイトの「公式Facebookページ」でも関連の情報発信を実施しました。（別紙の参考資料に掲載）

以上

平成３０年度収支決算

ｱｰﾊﾞﾝｲﾝﾌﾗ･ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ推進会議

平成３０年度収支決算書

１．一　般　会　計

自　平成３０年４月　１日
至　平成３１年3月３１日

３０年度収入	4,897,849	円	(事業活動収入計　参照)
３０年度支出	4,897,849	円	(事業活動支出計　参照)
次年度繰越金	０	円	

平成３０年度収支計算書

（平成３０年４月１日から平成３１年３月31 日）

1. 一　般　会　計

（単位：円）

事　項	予算額　A	決算額　B	差異　A－B
事業活動収入			
会費収入	4,600,000	4,600,000	0
雑収入	2,000	72	1,928
前年度繰越金	0	0	0
展示積立金取崩	700,000	297,777	402,223
事業活動収入計	5,302,000	4,897,849	404,151
事業活動支出			
事業費	2,100,000	1,677,468	422,532
技術交流部会費	1,130,000	910,694	219,306
調査委員会費	180,000	0	180,000
見学会費	30,000	14,890	15,110
講演会・意見交換会費	30,000	53,537	△23,537
広報部会費	300,000	295,840	4,160
総会費	200,000	191,137	8,863
謝金	230,000	211,370	18,630
管理費	3,202,000	3,220,381	△18,381
人件費	1,600,000	1,611,103	△11,103
事務費	1,552,000	1,500,000	52,000
雑費	50,000	109,278	△59,278
事業活動支出計	5,302,000	4,897,849	404,151
当期収支差・次年度繰越金	0	0	0

貸　借　対　照　表

（平成３１年3月３１日現在）

1．一　般　会　計

（単位：円）

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
（流動資産）	**6,527,345**	（流動負債）	**123,133**
現金	44,442	未払金	123,133
普通預金	6,482,903	預り金	-
未収入金	0		
		（正味財産）	**6,404,212**
		展示会費用積立金	6,404,212
合計	**6,527,345**	合計	**6,527,345**

財　産　目　録

（平成３１年３月３１日現在）

１．一　般　会　計

（単位：円）

項　　目	内　　訳	金　　額
【資産の部】		
（流動資産）		**6,527,345**
１．現金預金		
（１）現　　金		44,442
（２）普通預金		6,482,903
	みずほ銀行　江戸川橋支店	3,566,524
	三菱ＵＦＪ銀行　兜町支店	2,916,379
２．未収入金		0
（１）未収入金		0
【負債の部】		
（流動負債）		**123,133**
１．未払金		123,133
２．預り金		-
（正味財産）		**6,404,212**

平成３０年度収支決算

ｱｰﾊﾞﾝｲﾝﾌﾗ･ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ推進会議

平成３０年度収支決算書

２．情報発信事業会計

自　平成３０年４月　１日
至　平成３１年３月３１日

３０年度収入	1,818,147	円	(事業活動収入計　参照)
３０年度支出	1,804,623	円	(事業活動支出計　参照)
次年度繰越金	13,524	円	

平成 30 年度収支計算書

（平成 30 年４月１日から平成 31 年３月 31 日）

2. 情報発信事業会計

（単位：円）

事　項	予算額　A	決算額　B	差異　A－B
事業活動収入			
会費収入	1,920,000	1,800,000	120,000
雑収入	0	9	△9
前年度繰越金	0	18,138	△18,138
事業活動収入計	1,920,000	1,818,147	101,853
事業活動支出			
事業費	920,000	424,623	495,377
人件費	500,000	780,000	△280,000
事務費	500,000	600,000	△100,000
事業活動支出計	1,920,000	1,804,623	115,377
当期収支差・次年度繰越金	0	13,524	△13,524

貸　借　対　照　表

（平成 31 年３月３１日現在）

２．情報発信事業会計

（単位：円）

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
（流動資産）	**173,400**	（流動負債）	**159,876**
現金	-	未払金	159,876
普通預金	173,400	預り金	-
未収入金	-		
		（正味財産）	13,524
合計	**173,400**	合計	**173,400**

財　産　目　録

（平成31年3月31日現在）

２．情報発信事業会計

（単位：円）

項　目	内　訳	金　額
【資産の部】		
（流動資産）		**173,400**
１．現金預金		
（１）現　　金		-
（２）普通預金		173,400
	みずほ銀行　江戸川橋支店	173,400
２．未収入金		
（１）未収入金		-
【負債の部】		
（流動負債）		**159,876**
１．未払金		159,876
２．預り金		-
（正味財産）		**13,524**

監 査 報 告 書

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

　当推進会議の平成３０年度事業報告及び収支決算報告に関する業務内容及び計算書類は、期間中の事業活動内容と収支計算及び期末の財産状態を正確に表示しているものと認めます。

令和元年６ 月１２ 日

監　　事

久保田　勤　　㊞

河野　俊郎　　㊞

資料２：第２号議案

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

令和元年度

事業計画及び収支予算

自　平成 31 年４月１日

至　令和２年３月 31 日

令和元年度事業計画

ｱｰﾊﾞﾝｲﾝﾌﾗ･ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ推進会議

Ⅰ　概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

Ⅱ　各部会の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

　１　企画運営部会

　２　技術交流部会

　３　広報部会

　４　スマートシティ・ワーキンググループ

Ⅲ　都市基盤技術サイト運営事業・・・・・・・・・・・・・・・３

Ⅰ　概　要

当推進会議は、より高度な都市基盤施設に関する啓発及びそれを支える新しい技術の開発促進、その成果の都市づくりへの普及・活用を推進するため、展示会、技術研究発表会、各種講演会等を積極的に実施してまいります。

また、新たにスマートシティ・ワーキンググループを発足させ、研究を進めてまいります。

昨年度に引き続き都市基盤技術サイトの運営事業を継続することといたします。

具体的な活動については、会員の皆様のご意見・ご要望を踏まえ、かつ、会員の皆様のご支援・ご協力を得ながら、国土交通省都市局のご指導を仰ぎつつ、以下の事業を行ないます。

Ⅱ　各部会の事業

評議員会の下に設置されている各部会は次の事業を企画し、実施します。

１．企画運営部会

企画運営部会は評議員会の事前審議として当推進会議の予算･決算および事業全般の検討を行うとともに、以下の事業を企画します。

① 講演会

通常総会開催時と技術研究発表会開催時に講演会を実施いたします。このほか、 都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会と合同で講演会等を開催します。

② 意見交換会

通常総会、技術研究発表会等の機会に、国土交通省等関係機関の方々を交え意見交換会を開催します。

③ 交流見学会

地方公共団体、プロジェクト関係者との意見交換、交流を重視した交流見学会を３回程度実施します。

２．技術交流部会

第３１回技術研究発表会を、令和元年１１月１５日に丸ビルホール&コンファレンススクエア（８階）にて開催する予定です。また、閉会式及び表彰式終了後に意見交換会を開催します。

技術研究発表会の実施にあたり、地方公共団体の参加者が増加するよう地方公共団体へのＰＲに努めます。発表論文はホームページに掲載し、会員及び発表者、参加者等が閲覧できるようにします。

３．広報部会

ホームページの更新をきめ細かく行い、産・学・官がそれぞれ双方向で情報交換できるようホームページを活用し、情報の提供等を行います。

また、昨年度に引き続き発表論文の保存、管理等を安全・確実に行い、閲覧において検索機能を備えた発表論文のデーターベース化をさらに進めます。

４．スマートシティ・ワーキンググループ

今年度より新たに「スマートシティ・ワーキンググループ」を設置し東京大学大学院工学系研究科　教授　羽藤英二先生（UIT 副会長）にご指導を仰ぎながら、国土交通省の関係職員も交えてスマートシティに関して研究を進めます。

Ⅲ　都市基盤技術サイト運営事業

都市基盤技術の海外展開やシティセールスにあたり、日本の民間企業の有する都市基盤技術等に関する情報を総合カタログ的に取りまとめ、インターネットを通じて広く国内外に発信する都市基盤技術サイト（てく Tech まちさんぽ）の運営を継続します。また、サイトの公式 Facebook ページにて関連情報を発信するともに、国土交通省と連携し本サイトの周知や都市基盤技術の PR に努めていきます。

以上

令和元年度収支予算

（平成３１年４月１日から令和２年３月31 日）

1. 一　般　会　計

（単位：円）

事　項	予算額	平成 30 年度予算	備　考
事業活動収入			
会費収入	4,600,000	4,600,000	20 万×23 社
雑収入	2,000	2,000	預金利息
前年度繰越金	0	0	
展示積立金取崩	700,000	700,000	
事業活動収入計	5,302,000	5,302,000	
事業活動支出			
事業費	2,100,000	2,100,000	
技術交流部会費	1,130,000	1,130,000	技術研究発表会
調査委員会費	180,000	180,000	
見学会費	30,000	30,000	
講演会・意見交換会費	30,000	30,000	
広報部会費	300,000	300,000	HP 更新等
総会費	200,000	200,000	
謝金	230,000	230,000	
管理費	3,202,000	3,202,000	
人件費	1,600,000	1,600,000	
事務費	1,552,000	1,552,000	
雑費	50,000	50,000	通信費等
事業活動支出計	5,302,000	5,302,000	
当期収支差・次年度繰越金	0	0	

令和元年度収支予算

（平成３１年４月１日から令和２年３月31 日）

２. 情報発信事業会計

（単位：円）

事　項	予算額	平成 30 年度予算	備　考
事業活動収入			
会費収入	1,800,000	1,920,000	６万円×30 社
雑収入	0	0	
前年度繰越金	13,524	0	
事業活動収入計	1,813,524	1,920,000	
事業活動支出			
事業費	450,000	920,000	
人件費	750,000	500,000	
事務費	600,000	500,000	
事業活動支出計	1,800,000	1,920,000	
当期収支差・次年度繰越金	13,524	0	

資料 1-3：第３号議案

ｱｰﾊﾞﾝｲﾝﾌﾗ･ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ推進会議

役　員　名　簿

敬称略【2019.6.18 現在】

最高顧問		
	伊藤　滋	東京大学名誉教授
	黒川　洸	東京工業大学名誉教授

会　長　【評議員】		
	髙橋　洋二	東京海洋大学名誉教授

副会長　【評議員】		
	羽藤　英二	東京大学大学院工学系研究科教授
	中村　英夫	日本大学理工学部土木工学科教授

【評議員】　正会員		
	井上　俊幸	三菱地所(株)　開発推進部部長
	上野　和彦	(株)日建設計総合研究所　顧問
	浦嶋　将年	鹿島建設(株)　顧問
	佐藤　清吾	(株)竹中工務店　執行役員
新任	高橋　武	東日本旅客鉄道(株)　総合企画本部品川・大規模開発部　執行役員　担当部長
辞任	南　　琢	東京ガス(株)　エネルギー企画部部長
	望月　宣典	清水建設(株)　建築営業本部営業担当
**	加藤　智康	三井不動産(株)　執行役員　開発企画部長
	（山川　秀明　氏の後任）	
	山﨑　貴士	大成建設(株)　都市開発本部副本部長
【評議員】　特別会員		
**	山下　幸俊	東京都　都市整備局　都市基盤部長
	（荒井　俊之　氏の後任）	
	石渡　廣一	（独）都市再生機構　副理事長
	尾島　俊雄	早稲田大学名誉教授
	新谷　洋二	東京大学名誉教授
	丸田　頼一	千葉大学名誉教授

【監　事】		
	久保田　勤	小田急電鉄(株)　新宿プロジェクト推進部部長
＊	河野　俊郎	(株)オリエンタルコンサルタンツ　執行役員
	（山根　尚之　氏の後任）	

＊・・・2018 年度総会以降交代　　＜任期２年：2018 年総会後～2020 年６月＞

**・・・2019 年度交代

参考資料

1. 技術研究発表会・交流展示会　実施報告書

2. 都市基盤技術等情報発信 WEB サイトについて

参考資料１

第30回 技術研究発表会
第25回 交 流 展 示 会

開催日：2018年11月16日（木）

会場：丸ビルホール＆コンファレンススクエア８階

主催：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
協賛：三菱地所株式会社
後援：国土交通省、東京都、独立行政法人都市再生機構、一般財団法人都市みらい推進機構

・発表募集チラシ　　---　Ｐ　１
・参加募集チラシ　　---　Ｐ　２-３
・実施報告書　　　　---　Ｐ　４
・受賞一覧　　　　　---　Ｐ　５
・開催プログラム　　---　Ｐ　６-７
・写　　真　　　　　---　Ｐ　８-11
・交流展示会　　　　---　Ｐ12-13

UIT The Urban Infrastructure and Technology Promotion Council
アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

第３０回技術研究発表会

Ⅰ論　文
Ⅱプロジェクト･技術報告

論文・報告募集します。

開催日・会場

2018年11月16日(金)午後　丸の内ビルディング コンファレンススクエア

応募期間

2018年 5月 14日(月) ～ 7月 2日(月)

テーマ

スマートシティが描く都市の未来

スマートシティは、情報通信技術(ICT)を駆使し、エネルギーや交通などの社会インフラ全体を効率的にマネジメントする都市づくりとして始まりました。近年、その根底にあるテクノロジーの領域が拡大し、スマートシティの概念が多様化しつつあります。発電・蓄電の自動制御、水素社会への取組みやIoT・ビッグデータ・AI等の都市への適用、医療・健康をテーマにした取組み等において、未来の都市に向けた様々な模索が続けられています。このような状況認識のもと、「スマートシティが描く都市の未来」をテーマとして第30回技術研究発表会を開催いたします。

また、共通セッション「２０２０東京オリンピック・パラリンピックがもたらす都市のテクノロジー」も開催予定です。

内　容

Ⅰ　論　文

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する先端的な技術を適用した事例・構想等をわかりやすく平易に表現した論文　＊原則として未発表のもの

Ⅱ　プロジェクト･技術報告

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する技術開発、先端的な技術を適用した事例、構想などについてパワーポイント、映像等と合わせて報告者による説明　＊審査、表彰無し

応募資格

■一般企業：原則として当推進会議の会員
■学識経験者（大学院生、研究者等含む）、地方公共団体、その他公的団体
■産・学・官の協働など

選考・表彰

Ⅰ　論　文

■選　　考：論文審査委員会において論文審査の後、採択された論文は第30回技術研究発表会において論文発表を行う
■表　　彰：第30回技術研究発表会にて、各分野ごとに優秀賞（各１）、奨励賞（各１～２程度）を決定し表彰する

審査分野（予定）

Ⅰ　論文
◇　環境・エネルギー
◇　情報・防災・交通
◇　都市の再興・まちづくり

詳細は募集要項を参照ください

過去の論文･梗概
UITホームページにて閲覧できます

応募方法

■募集要項、応募用紙等はUITホームページからダウンロードしてください　www.uit.gr.jp

提出先・問い合わせ

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議　事務局
■住所：〒112-0014 東京都文京区関口１-２３-６
（一財）都市みらい推進機構 内
■Tel：03-5261-5625　Fax：03-5261-5629
■E-mail：uit@uit.gr.jp

主催・後援

■主催：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
■協力：三菱地所株式会社
■後援：国土交通省、東京都
（予定）独立行政法人都市再生機構
一般財団法人都市みらい推進機構

第30回 技術研究発表会
記 念 講 演 会
第25回 交 流 展 示 会

テーマ 「スマートシティが描く都市の未来」

アーバンインフラ･テクノロジー推進会議では、都市づくりに関するアーバンインフラストラクチャーとテクノロジーについて、学術と知識の交流を目的に、四半世紀以上にわたって技術研究発表会を実施してまいりました。2018 年は「スマートシティが描く都市の未来」をテーマに、論文発表およびプロジェクト技術報告と、記念講演会を開催いたします。
また、交流展示会では、地方公共団体や諸団体の都市基盤施設、都市インフラ技術、関連プロジェクトに関する情報を一堂に集めたパネルや映像を展示いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日にち 2018年11月16日（金） 13時開場
時　間 13:15～18:30 技術研究発表会･記念講演会　10:00～16:00 交流展示会
会　場 丸ビルホール&コンファレンススクエア 8F 東京都千代田区丸の内2-4-1丸の内ビルディング
参加費 無料　　**CPD 単位** 土木学会 日本都市計画学会
申込み UIT ホームページよりお申し込みください　http://www.uit.gr.jp/

◆技術研究発表会
13:15-15:25
<論文：13 演題>
A 環境･エネルギー･防災
B 情報
C 都市の再興･まちづくり･交通
<報告：5 演題>
D プロジェクト･技術報告

15:35-17:40
<論文：3 演題 報告：3 演題>
E 共通セッション

◆記念講演会 17:50-18:30
「情報は都市を変えるか？」
講師：東京大学 大学院工学系研究科
教授 羽藤 英二 氏 （UIT 副会長）

◆交流展示会 10:00-16:00
（一財）民間都市開発推進機構、 東京都
（公社）日本交通計画協会、さいたま市
横浜市／第 30 回全国街路事業コンクール受賞事業

www.uit.gr.jp

主 催 アーバンインフラ･テクノロジー推進会議　東京都文京区関口 1-23-6　Tel 03-5261-5625　Mail uit@uit.gr.jp
協 賛 三菱地所株式会社　**後 援** 国土交通省 東京都 独立行政法人都市再生機構 一般財団法人都市みらい推進機構

＊申請中

第 30 回技術研究発表会　テーマ

◇　２０１８年テーマ　**「スマートシティが描く都市の未来」**

スマートシティは、情報通信技術(ICT)を駆使し、エネルギーや交通などの社会インフラ全体を効率的にマネジメントする都市づくりとして始まりました。近年、その根底にあるテクノロジーの領域が拡大し、スマートシティの概念が多様化しつつあります。発電・蓄電の自動制御、水素社会への取組みや IoT・ビッグデータ・AI 等の都市への適用、医療・健康をテーマにした取組み等において、未来の都市に向けた様々な模索が続けられています。このような状況認識のもと「スマートシティが描く都市の未来」をテーマとして開催いたします。

◇　共通セッションテーマ　**「２０２０東京オリンピック・パラリンピックがもたらす都市のテクノロジー」**

テクノロジーの進化や普及のスピードは一様ではなく、博覧会やオリンピック等の国際的ビックイベントを契機に発展してまいりました。1964 年東京オリンピックでは、東海道新幹線や首都高速道路、モノレール等の交通インフラが整備され、家庭生活ではカラーテレビが普及するなど、現在の社会・生活の基盤が形成されました。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを契機として、どのような未来社会が構想されていくのか、各技術分野の観点から意見交換を行ってまいります。

第 30 回技術研究発表会　内　容

プログラム

■　開会式

13:15-13:30　**挨　拶**　ＵＩＴ会長　髙橋　洋二　（東京海洋大学名誉教授）

来　賓　国土交通省　官房技術審議官　徳永　幸久　氏

■　発表内容

13:35-15:25　**発　表**　Ⅰ　論　文（Ａ.環境・エネルギー・防災　Ｂ.情報　Ｃ.都市の再興・まちづくり・交通）

Ⅱ　プロジェクト・技術報告（Ｄ.プロジェクト・技術報告）

15:35-15:45　**共通セッション　趣旨説明**

15:45-17:25　**発　表**　Ⅰ　論　文（Ａ.環境・エネルギー・防災　Ｂ.情報　Ｃ.都市の再興・まちづくり・交通）

Ⅱ　プロジェクト・技術報告（Ｄ.プロジェクト・技術報告）

17:25-17:40　**意見交換等**

■　記念講演会

17:50-18:30　演　題：「情報は都市を変えるか？」

講　師：東京大学　大学院工学系研究科　教　授　羽藤　英二　氏
（アーバンインフラ・テクノロジー推進会議　副会長）

■　閉会式

18:40-19:20　**講　評**　論文審査副委員長　中村　英夫　（日本大学教授）
（アーバンインフラ・テクノロジー推進会議　副会長）

表彰式　ＵＩＴ会長　髙橋　洋二　（東京海洋大学名誉教授）

■　意見交換会

19:20-21:10　**挨　拶**　ＵＩＴ技術交流部会長　井上　俊幸　（三菱地所㈱開発推進部部長）

来　賓　国土交通省　都市局　街路交通施設課長　本田　武志　氏

＊詳細は変更になる場合が有ります

実 施 報 告 書

アーバンインフラ・テクノロジー推進委会議
会 長　髙 橋　洋 二
東京都文京区関口 1-23-6 プラザ江戸川橋ビル
一般財団法人 都市みらい推進機構内

実施内容について、以下のとおりご報告いたします。

<table>
<tr><td>行事期間</td><td colspan="2">1.第 30 回技術研究発表会　H30 年 11 月 16 日（金） 13 時 15 分～20 時 10 分
2.第 25 回交流展示会　H30 年 11 月 16 日（金） 10 時 00 分～16 時 00 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="2">丸ビルホール&コンファレンススクエア 8F（東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸の内ビルディング）</td></tr>
<tr><td>参加数</td><td>1.第30回技術研究発表会　170名
発表:24編 （Ⅰ論文 16 編）
（Ⅱプロジェクト・技術報告 8 編）
取材:1 社</td><td>2.第25回交流展示会
出展:8 団体
展示:パネル 38 枚, 映像 1 機
印刷物 9 種, 配布物 1 種</td></tr>
<tr><td>経緯結果</td><td colspan="2">1. 第30回技術研究発表会
① 開会式
主催者 挨拶　髙橋洋二 UIT会長 兼 技術研究発表委員長
来賓挨拶　国土交通省 官房技術審議官 徳永 幸久 氏
② 発表論文及びプロジュエクト技術報告 （計 24 編）
テーマ 『スマートシティが描く「都市の未来』
A.環境・エネルギー・防災 部門　5 編
B.情報 部門　4 編
C.都市の再興・まちづくり・交通 部門　4 編
D.プロジェクト・技術報告　5 編
共通セッションテーマ 「2020 東京オリンピック・パラリンピックがもたらす都市のテクノロジー」
E.共通セッション　6 編 （A. B. C.各1編 D.3 編
③ 記念講演会
演題 「情報は都市を変えるか？」
講師 東京大学大学院工学研究科 教授 羽藤 英二 氏 （UIT副会長）
④ 論文審査委員会
⑤ 閉会式
論文審査結果報告、講評　中村 英夫 論文審査副委員長 （UIT副会長）
表彰式　高橋 洋二 UIT会長 （論文審査委員長）
＊（優秀賞・奨励賞）受賞論文 別紙参照
⑥ 意見交換会
挨拶 井上 俊幸 技術交流部会長 （三菱地所㈱ 開発推進部長）
乾杯挨拶 国土交通省 都市局 街路交通施設課長 本田 武志 氏
中締／受賞者代表挨拶 株式会社竹中工務店 西野 高明 氏
国土交通省をはじめ多くの皆様にご参加いただき、盛会裡に終了することができました。</td></tr>
</table>

■第30回技術研究発表会　受賞一覧

日にち　平成30年11月16日（金）

会　場　丸ビルホール&コンファレンススクエア8階

テーマ　スマートシティが描く都市の未来

主　催　アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

会　長　髙橋　洋二（東京海洋大学名誉教授）

論文審査委員長　髙橋　洋二（東京海洋大学名誉教授）

A 環境・エネルギー・防災　部門

受　賞	No.	所　属	発表者	論文著者
優秀賞	A05	大阪ガス　株式会社	福井　浩二	福井　浩二
	タイトル	大阪ガスの目指すバーチャルパワープラントについて		
奨励賞	A04	清水建設　株式会社	橋本　純	橋本　純、岩井　豪
		中電技術コンサルタント　株式会社		前川　尚嗣
		東洋エンジニアリング　株式会社		大桐　俊幸
	タイトル	錦海ハビタット：瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設における湿地再生		
奨励賞	A06 (E01)	清水建設　株式会社	下田　英介	下田　英介、野津　剛
	タイトル	再エネ余剰電力を用いた街区における水素マネジメント技術の開発		

B 情　報　部門

受　賞	No.	所　属	発表者	論文著者
優秀賞	B03	株式会社　竹中工務店	西野　高明	西野　高明、熊谷　健児、小野　孝一、宮口　幹太、井上　竜太
	タイトル	電力線通信を用いた建設現場 ICT インフラ構築技術の開発		
奨励賞	B02	鹿島建設　株式会社	岩下　直樹	岩下　直樹、板橋　信男、山本　章貴
	タイトル	変位・荷重自動制御による大規模アンダーピニング情報化管理		
奨励賞	B04	株式会社　竹中工務店	松田　耕	松田　耕、杉本　俊介、 今枝　賢志朗
		株式会社　朝日興産		吉田　真悟
	タイトル	建設現場における屋内位置認識インフラの開発		

C 都市の再興・まちづくり・交通　部門

受　賞	No.	所　属	発表者	論文著者
優秀賞	C05 (E02)	前橋市	飯塚　弘一	細谷　精一、飯塚　弘一
	タイトル	都市部基幹バスの自動運転導入に伴う環境基盤整備と交通課題解決		
奨励賞	C01	独立行政法人　都市再生機構	大橋　啓造	大橋　啓造
	タイトル	都心部における生物多様性に配慮した緑空間整備に関する検討		
奨励賞	C03	森ビル　株式会社	藤原　純	藤原　純
		株式会社　ZMP		今西　暢子
	タイトル	人工知能を活用した自動走行物流システム構築の実証実験		

（カッコ内No.）共通セッション発表番号

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
第３０回技術研究発表会
論文発表およびプロジェクト・技術報告　開催プログラム

日にち：平成30年11月16日（金）　受付13時00分～
会　場：丸ビルホール＆コンファレンススクエア　8階
テーマ：スマートシティが描く都市の未来

2018/11/16現在

ROOM4	開会式	
(13:00) 13:15-13:30	開場	
	・会長挨拶	UIT会長　高橋　洋二　（東京海洋大学名誉教授）
	・来賓挨拶	国土交通省　官房技術審議官　徳永　幸久　氏

ROOM1	発表 No.	代表者所属	発表者	著者	A.環境・エネルギー・防災
13:35-13:55	A01	鹿島建設株式会社	菅野　一敏	菅野　一敏	下水処理場をエネルギーセンターへ～豊橋市の事例とコア技術～
13:55-14:15	A02	独立行政法人都市再生機構	有賀　淳	有賀　淳、小西　岳彦	さいたま新都心での防災公園整備におけるグリーンインフラの導入
14:15-14:35	A03	横浜市	栗本　高史	栗本　高史、木村　信一、小川　靖弘	道路インフラ整備が与える多面的なストック効果について ～横浜市の事例（横浜北線及び関連道路）～
14:35-14:45		＜休憩＞			
14:45-15:05	A04	清水建設株式会社	橋本　純	橋本　純、岩井　豪	錦海ハビタット：瀬戸内Kirei太陽光発電所建設における湿地再生
		中電技術コンサルタント株式会社	—	前川　尚嗣	
		東洋エンジニアリング株式会社	—	大桐　俊幸	
15:05-15:25	A05	大阪ガス株式会社	福井　浩二	福井　浩二	大阪ガスの目指すバーチャルパワープラントについて

ROOM5	発表 No.	代表者所属	発表者	著者	B.情報
13:35-13:55	B01	三菱地所株式会社	村上　孝憲	村上　孝憲	エリアマネジメントと生物多様性に資するデータベースの構築
		Pacific Spatial Solutions株式会社	伊勢　紀	伊勢　紀	
13:55-14:15	B02	鹿島建設株式会社	岩下　直樹	岩下　直樹、板橋　信男、山本　章義	変位・荷重自動制御による大規模アンダーピニング情報化管理
14:15-14:35	B03	株式会社竹中工務店	西野　高明	西野　高明、熊谷　健児、小野　孝一、宮口　幹太、井上　竜太	電力線通信を用いた建設現場ICTインフラ構築技術の開発
14:35-14:45		＜休憩＞			
14:45-15:05	B04	株式会社竹中工務店	松田　耕	松田　耕、杉本　俊介、今枝　賢志朗	建設現場における屋内位置認識システムの開発
		株式会社朝日興産	—	吉田　真悟	

ROOM4	発表 No.	代表者所属	発表者	著者	C.都市の再興・まちづくり・交通
13:35-13:55	C01	独立行政法人都市再生機構	大橋　啓造	大橋　啓造	都心部における生物多様性に配慮した緑空間整備に関する検討
13:55-14:15	C02	ものつくり大学大学院	新井　達也	田尻　要、新井　達也、守家　和志、早川　征太	首都圏外郭部の観光地におけるインバウンド受容意向と対応方策 ～長瀞町を事例とした基礎的調査～
		埼玉県立いずみ高等学校	—	木村　泰太	
14:15-14:35	C03	森ビル株式会社	藤原　純	藤原　純	人工知能を活用した自動走行物流システム構築の実証実験
		株式会社ZMP	—	今西　暢子	
14:35-14:45		＜休憩＞			
14:45-15:05	C04	国土交通省　国土技術政策総合研究所	中西　賢也	中西　賢也	パーソントリップ調査データと交通関連ビッグデータの比較検証
		一般財団法人　計量計画研究所	—	森尾　淳、石井　良治	

ROOM3	発表 No.	代表者所属	発表者	著者	D.プロジェクト・技術報告
13:35-13:55	D01	大成建設株式会社	佐々木 寿文、宮本 光	佐々木 寿文、宮本 光	一体的施行での市街地再開発事業による都市・地域の再生（湊二丁目東地区）
13:55-14:15	D02	独立行政法人都市再生機構	吉江 達也	吉江 達也	広島駅自由通路等整備事業実施報告
14:15-14:35	D03	青森県弘前市	菅野 洋	菅野 洋、樋口 秀之	弘前型スマートシティ構想について
14:35-14:45	<休憩>				
14:45-15:05	D04	国土交通省	村上 卓大	村上 卓大	まちの活性化を測る歩行者量調査のガイドラインについて ～新技術を活用してにぎわいを測る～
15:05-15:25	D05	京環境研究所 清水建設株式会社	橘 雅哉 岩谷 正通	橘 雅哉 岩谷 正通	京橋１・2丁目における地域でのエネルギー利用合理化とBCPについて

ROOM4	発表 No.【HP掲載】	代表者所属	発表者	著者	E.共通セッション「２０２０東京オリンピック・パラリンピックがもたらす都市のテクノロジー」
15:35-15:40		共通セッション趣旨説明			
15:40-15:55	E01【A06】	清水建設株式会社	下田 英介	下田 英介、野津 剛	再エネ余剰電力を用いた街区における水素マネジメント技術の開発
15:55-16:10	E02【C05】	前橋市	飯塚 弘一	細谷 精一、飯塚 弘一	都市部基幹バスの自動運転導入に伴う環境基盤整備と交通課題解決
16:10-16:25	E03【B05】	国際アート・カルチャー都市としまスマートシティ協議会 公益社団法人日本交通計画協会 豊島区 日本電気株式会社 株式会社トーニチコンサルタント	— 原島 克典 — —	豊辺 将嘉 原島 克典 宮崎 真次 稲葉 修	豊島区における画像解析等による人間優先の都市空間整備について
16:25-16:40	E04【D06】	日本電気株式会社	宮崎 真次	宮崎 真次	次世代移動空間整備に向けた映像解析技術の活用
16:40-16:45	<休憩>				
16:45-17:00	E05【D07】	株式会社日建設計総合研究所 筑波大学 つくばウエルネスリサーチ 札幌市	吉本 憲生 — — —	安藤 章、上野 和彦、吉本 憲生 久野 譜也 村田 良一 一橋 基、中本 和弥、戸島 宏二	ICTを活用した官民連携の健幸まちづくり推進プロジェクト
17:00-17:15	E06【D08】	国土交通省	越智 健吾	越智 健吾	スマートシティの実現に向けての国土交通省の取組み
17:15-17:40		質疑・意見交換等			

ROOM4	記念講演会	
17:50 ｜ 18:30	・記念講演会	演　題：「情報は都市を変えるか？」 講　師：東京大学　大学院工学系研究科　教授　羽藤 英二　氏 （ＵＩＴ副会長）

ROOM5	閉会式・意見交換会	
18:40 ｜ 20:10	閉会式 ・講　評 ・表彰式 意見交換会 ・部会長挨拶 ・来賓挨拶	 論文審査副委員長　中村 英夫　（日本大学教授）　（ＵＩＴ副会長） ＵＩＴ会長　高橋 洋二　（東京海洋大学名誉教授） ＵＩＴ技術交流部会長　井上 俊幸　（三菱地所㈱開発推進部部長） 国土交通省　都市局　街路交通施設課長　本田 武志　氏

※プログラム詳細は変更する場合がございます

主　催：　アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
協　賛：　三菱地所株式会社
後　援：　国土交通省、東京都、独立行政法人都市再生機構、一般財団法人都市みらい推進機構

CPD認定プログラム：
申請済　土木学会ＣＰＤプログラム
申請済　日本都市計画学会ＣＰＤプログラム

※単位のご登録は各自でお手続きください

都市計画 CPD

www.uit.gr.jp

第 25 回交流展示会　アーバンクリエーション 2018

日にち　平成 30 年 11 月 16 日（金）　10：00～16：00
会　場　丸ビルホール&コンファレンススクエア　8 階　ROOM２
テーマ　スマートシティが描く都市の未来
主　催　アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
協　賛　三菱地所株式会社
後　援　国土交通省、東京都、独立行政法人都市再生機構、一般財団法人都市みらい推進機構

	出展団体　および　内容
1	公益社団法人　日本交通計画協会 ・新交通システム
2	一般財団法人　民間都市開発.推進機構 ・MINTO 機構について ・共同型都市再構築業務 ・まち再生出資業務 ・マネージメント型まちづくりファンド支援業務
3	東京都 ・選手村地区 エネルギー事業（概要） ・配水管の耐震継手化 ・東京駅丸の内駅前広場・行幸通り ・木密地域における都市計画道路の整備 ・都民生活を支える東京の道路整備 ・東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画） ・広域避難を可能とする都県境の橋梁整備（東京都⇔千葉県） ・優先整備路線事例　～多摩 3･1･6 南多摩尾根幹線～ ～環状４号線（港区港南一丁目～同区白金台三丁目区間）～ ・連続立体交差事業の推進、連続立体交差事業のストック効果 ・整備地域及び特定整備路線箇所図、国分寺３・２・８、調布保谷線　他
4	さいたま市 ・大宮駅グランドセントラルステーション化構想　概要版 ・都市局まちづくり広報誌「korekara」第 28 号
5･6	横浜市 全国街路事業促進協議会 ・第 30 回全国街路事業コンクール受賞事業パネル
7･8	まちづくり情報交流協議会 ・ 第 13 回まちづくり情報交流大賞について 茨城県　下妻市　＜第 13 回まちづくり情報交流大賞　国土交通大臣賞＞

開会式

会長挨拶・開会式会場風景

国土交通省 来賓挨拶

発表会

発表会場風景

発表者・司会者席

共通セッション　打ち合わせ

共通セッション関係者　顔合わせ・打ち合わせ

共通セッション　関係者

清水建設　前橋市　豊島区　日本電気　日建設計総合研究所　会長　国土交通省　司会　副司会　委員

発表者・会長・担当委員

共通セッション

共通セッション　各発表・会場風景

パネリスト・司会者

記念講演会

講演風景

記念講演会　会場質疑

閉会式

論文審査副委員長　講評

表彰式　会長 賞状授与

意見交換会

部会長挨拶

来賓乾杯挨拶

意見交換会　会場風景

会場風景

その他　（会場周り）

会場入り口　資料台

会場入り口　モニター掲示

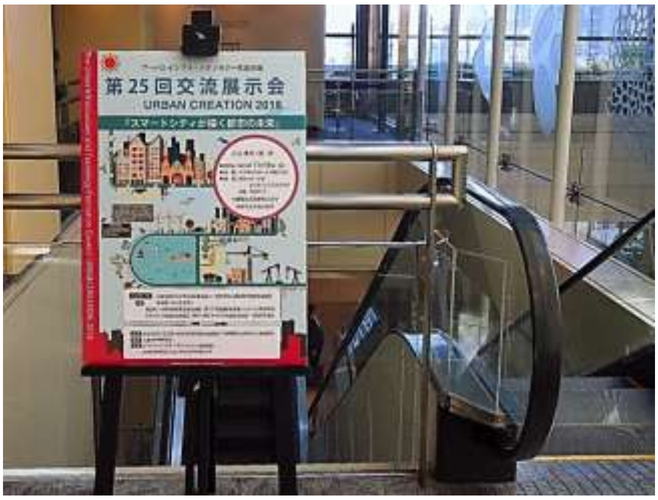
交流展示会

交流展示会　会場入り口

交流展示会　閲覧風景

パネル展示

映像・パンフレット展示・配布物



案内パネル　７階エスカレーター脇

案内パネル&モニター　７階螺旋階段脇

都市基盤技術サイト＆公式Facebookページについて

日本語サイト:https://www.uit.gr.jp/info-portal/

＜サイト・トップページ＞

＜ねらい＞

①日本の優れた都市基盤技術の情報発信の拡充
　→　分野横断的な情報発信の受け皿としてポータルサイトを構築
② 2020年に向けた海外向け英語コンテンツ作成促進のトリガー

＜主要コンテンツ＞

①**都市基盤技術ページ**　＜日本企業の持つ技術、ソリューション等＞
②**まち歩き（東京）、（大阪）ページ**　＜都市基盤技術の活用事例＞

＜管理運営主体＞

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）
～　国土交通省、地方公共団体、民間企業（デベロッパー、鉄道、建設等）による官民連携組織　～

都市基盤技術サイト事務局
都市みらい推進機構　（川上）　原田、福田
メールアドレス:　info-portal@uit.gr.jp
電話:　03-5261-5625

＜サイト公開＞

2016年9月末　公開
当面は2020年まで運営

＜今後の課題＞

①2020年に向けた本サイト掲載情報の拡充（参加企業各社）
②公式Facebookページや本サイトの技術や事例に関連する国交省等の取組み掲載による関連情報の発信（事務局中心）

（平成31年3月29日時点）

都市基盤技術サイト＆公式Facebookページについて

＜サイト・都市基盤技術ページ＞

・7つのテーマ（分類）毎に参加企業の技術やソリューション、製品等を掲載

＜7つのテーマ＞

テーマⅠ　計画・管理
テーマⅡ　防災性向上
テーマⅢ　環境負荷低減
テーマⅣ　円滑移動
テーマⅤ　ユニバーサルデザイン
テーマⅥ　高度都市空間
テーマⅦ　維持管理

・テーマ毎のページでは「技術名毎に絞り込み表示」も可能

・東京、大阪に導入・設置してあるものがあれば、まち歩きページの地図にリンク

・掲載技術数は日本語サイト124、英語サイト25

＜サイト・まち歩き（東京）、（大阪）ページ＞

・東京、大阪及び周辺のエリア毎に、都市開発プロジェクトや交通・エネルギー等の都市基盤に関する事例を地図上に掲載

・技術ページに記載のものがあれば、該当技術にリンク

・タブレットやスマートホンでの閲覧時に、目的の建物等との位置関係を把握できるように「現在地表示機能」を実装

・掲載事例数は日本語サイト139、英語サイト32

＜公式Facebookページ＞

https://www.facebook.com/uit.portal/

・事務局スタッフが実際にまちを歩いた感想や旬な話題提供も含め、関連情報を発信

・Facebookユーザの方は、「いいね」や「シェア」で情報の拡散をお願いできると幸甚です

（平成31年3月29日時点）

都市基盤技術サイトに関するPRプロモーション及びサイト修正等の対応状況

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議(UIT)
都市基盤技術サイト事務局

年月	PRプロモーション（国土交通省、関連団体等）	サイト修正・Facebookページ情報発信など（事務局対応）	総アクセス数（内、海外）
2018年4月		・先進的まちづくりシティコンペ英文パンフレットへのリンク掲載（4/6、日本語・英語サイト） ・Facebookページ情報発信【東京・東京ミッドタウン日比谷】（4/5、6、13） ・Facebookページ情報発信【スマートシティ】（4/11） ・Facebookページ情報発信【東京ステーションギャラリー・隈研吾】（4/20） ・Facebookページ情報発信【横浜・二俣川駅南口地区】（4/27）	381 (14)
2018年5月		・まち歩きページ天気予報表示の不具合対応（5/2、日本語・英語） ・Facebookページ情報発信【東京・飯田橋】「日建設計イラストレーションスタジオ展　DRAWN TO ARCHITECTURE」開催（5/17） ・Facebookページ情報発信【東京・竹芝地区】（5/25） ・Facebookページ情報発信【東京・水道インフラツアー】（5/26） ・JFEエンジニアリング/まち歩き（東京）に２プロジェクト追加（5/28、日本語）	464 (57)
2018年6月		・Facebookページ情報発信【東京・川沿い散策ツアー】（6/4） ・オリコン７技術リンク切れ修正（6/20、日本語） ・三菱電機１技術リンク切れ修正（6/20、英語） ・Facebookページ情報発信【東京・「Smooth Access City（スムースアクセスシティ）都市の未来へ、行ってみよう」開催】（6/22）	499 (113)
2018年7月	・「海外建設協会(OCAJI)」との相互リンク	・Facebookページ情報発信【東京・池袋／南池袋公園】（7/23） ・都市基盤技術ページから「海外建設協会・世界に誇る先端技術」へのリンク掲載（7/30、日本語・英語）	419 (49)
2018年8月		・国土交通省「スマートシティの実現に向けて（中間とりまとめ）」へのリンク掲載（8/22、日本語） ・Facebookページ情報発信【国土交通省「スマートシティの実現に向けて（中間とりまとめ）」】（8/22） ・森ビル「自動運転タクシーサービスの公道営業実証実験を世界で初めて実施」へのリンク掲載（8/30、日本語）	498 (153)
2018年9月		・バングラデシュの学生からFBページへ問合せ（9/6）→　スマートシティの動きを知りたいとのことで、国土交通省「スマートシティの実現に向けて（中間とりまとめ）」を紹介	333 (61)
2018年10月			392 (54)
2018年11月			327 (55)
2018年12月			264 (64)
2019年1月		・国土交通省「スマートシティ／ニーズ・シーズ提案募集について」へのリンク掲載(1/8、日本語) ・三菱地所「Marunouchi THE HEART OF TOKYO」へのリンク掲載(1/16、日本語・英語) ・三井不動産「まち日本橋」へのリンク掲載(1/23、日本語・英語) ・都市みらいサイト「機構からのお知らせ」に新規リンク掲載のお知らせ（1/28）	290 (19)
2019年2月		・トップページ「UIT技術研究発表論文」からの「大手町タワー」、「あべのハルカス」へのリンク不具合修正（2/6、日本語） ・みらいサイトの本サイトバナーからのリンクをPDF紹介資料からトップページに変更（2/14、日本語） ・情報発信したいプレスリリース等の掲載を参加各社に依頼（2/15,21） ・国土交通省「スマートシティの実現に207団体からの提案を公表（2/8)」へのリンク掲載（2/25、日本語） ・Facebookページ情報発信【国土交通省「スマートシティの実現に207団体からの提案を公表（2/8)」】（2/25） ・国土交通省「自動運転車両がニュータウンの移動の足を支えます！(2/12)」へのリンク掲載（2/28、日	364 (21)
2019年3月	・第7回都市交通システム海外展開研究会にてサイト紹介資料を配布（3/6）	・竹中工務店プレスリリース「建物と車が水素でつながる燃料電池自動車によるV2B実証に成功（2.18）」（3/7、日本語） ・竹中工務店ＰＲ映像「Future urban creation at Takenaka Corporation（2.6）」（3/7、英語） ・国土交通省「スマートシティに関する取り組み」へのリンクを都市基盤技術ページに掲載（3/13、日本語） ・国土交通省「スマートシティモデル事業の公募開始（3/15）」へのリンク掲載（3/15、日本語） ・Facebookページ情報発信【国土交通省「スマートシティモデル事業の公募開始（3/15）」】（3/19） ・検索キーワードに「日本、都市、支える技術、サイト」等を追加（3/19） ・JR東日本１技術リンク切れ修正（3/25、日本語）	499 (34)
Webサイト：	https://www.uit.gr.jp/info-portal/		
FBページ：	https://www.facebook.com/uit.portal/		